

認知症に関する活動計画(概要)

新潟県作業療法士会では、地域包括ケアシステム推進委員会が主軸となり、認知症に関する様々な活動に取り組んでいる。今年度は、これまでの研修・家族会支援事業に加え、学術大会でのシンポジウム開催など、他職種・行政との連携をより一層強化する活動を展開した。

2025年度 活動実績

研修事業

【目的】地域における認知症支援について家族や多職種に作業療法士の役割を発信する。

1. PT・OT・ST合同学術大会でのシンポジウム開催

日時:2025年12月20日 参加者:77名(職種:OT、PT、STなど)

内容:家族、家族会、県担当者、作業療法士によるシンポジウムを開催し、地域での生活支援の現状と課題を共有した。参加者からは職種を越えた連携の重要性に多くの反響があった。



PT・OT・ST学会

2. 家族会への同行

日時:①2025年6月14日 ②2025年9月27日

参加者:2地区、各2名ずつ

内容:認知症アップデート研修(2021年度作成)の動画で事前学習したうえで、委員とともに家族会へ同行した。ご家族の悩みを伺い、生活場面に即した助言を行うとともに、派遣事業を担う会員育成につなげた。

家族会支援事業

認知症の人と家族の会への作業療法士派遣

実績:2地区計5回、延べ5名を派遣した。

・OT協会の作成した「生活行為を続けるためのヒント集-改訂版-」を活用し、具体的な生活の工夫を提案している。家族からは、夜間トイレに起きた後に玄関から出てしまうことがある対象者について相談があり、センサーなどの器具を紹介した。行動心理学的な視点から対策を提案し、すぐに実践できる内容であったと好評であった。

・連携:世話人の方のご紹介で、増田末知子先生(NPO法人スリーA)へ研修会講師を依頼した。

広報活動

アルツハイマー月間(9月)に合わせ「オレンジ通信」を作成しHPへ掲載した。あわせて、ホームページのバナーを認知症をテーマとしたオレンジ色に変更するとともに、「認知症の日」に合わせて文言も変更し、周知を図った。(右図)



2026年度 活動計画

1. 研修事業

昨年度に引き続き、家族会・他職種・行政と連携した企画を継続する。 県士会のホームページ

2. 家族会支援事業

派遣地区を1か所増やす予定である。

3. 認知症の人の社会参加機会の拡充に向けた取組への参加

認知症の人も参加しやすい図書館における「配架・書架整理ボランティア活動」の立ち上げを検討する場に参加している。

4. 広報活動

アルツハイマー月間に合わせた「オレンジ通信」の作成・ホームページ掲載を予定している。